

JV33-260



UJF-3042
UV PRINTER



TextileJET
Tx400-1800B



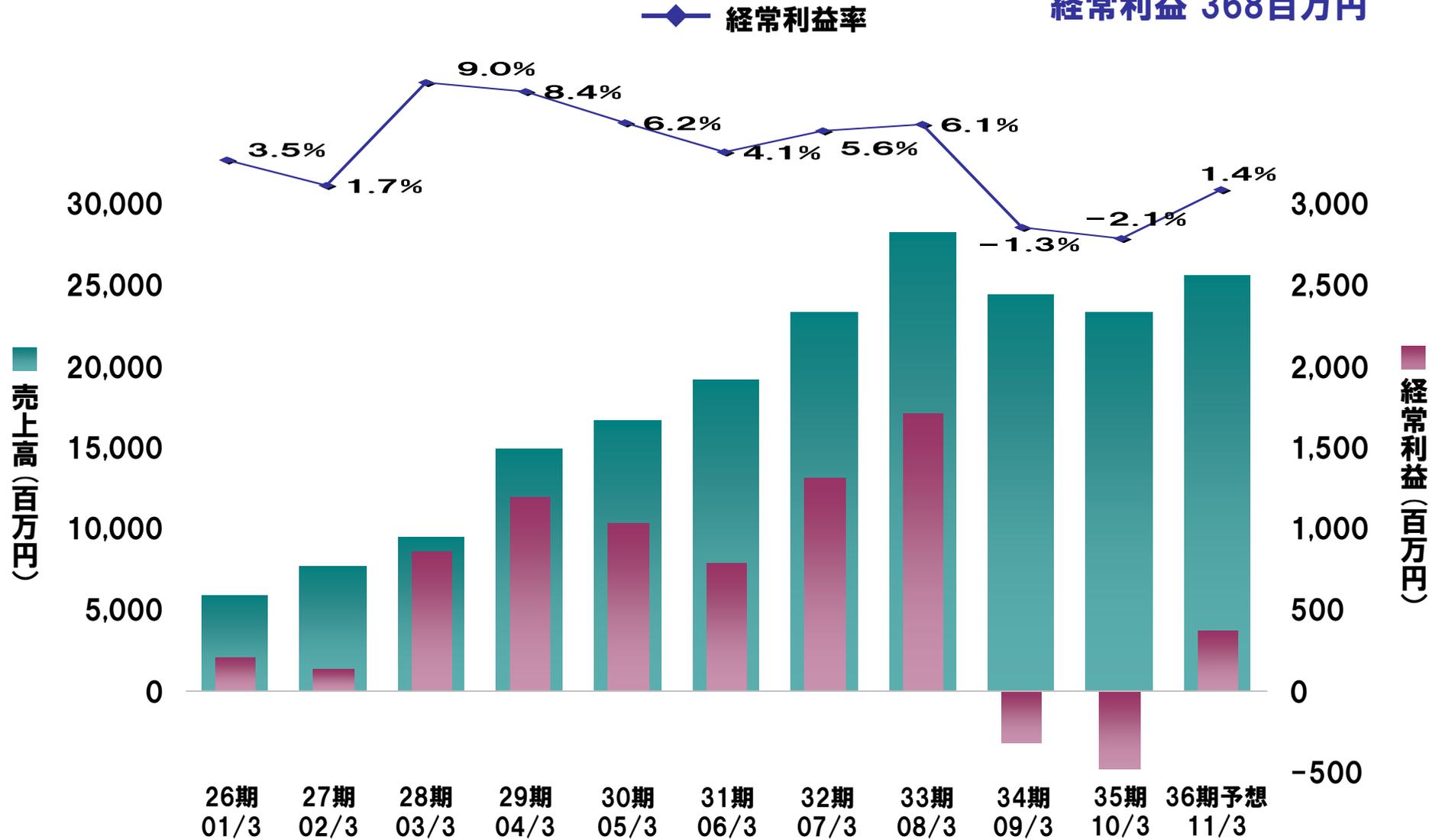
株主様向け 会社説明会 2010年6月29日

❖ 今期の予想

❖ 当社の経営戦略

連結売上高推移

2011年3月期予想
 売上高 25,600百万円
 経常利益 368百万円



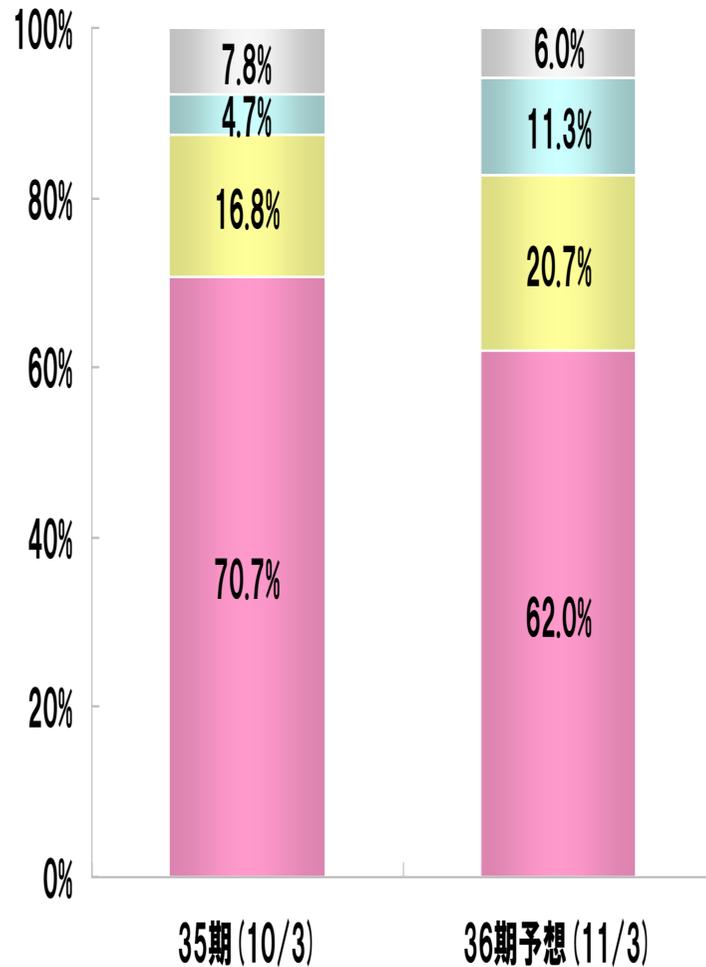
(注) 2005年3月期 以降は連結。

連結業績予想

(百万円、%)	35期(10/3)	36期予想 (11/3)	増減額	増減率
売上高	23,284	25,600	2,316	9.9
営業利益	△168	493	661	—
経常利益	△481	368	849	—
当期純利益	△523	168	691	—
為替レート				
米ドル	92.86円	90.00円		
ユーロ	131.16円	125.00円		

機種群別売上高予想

【構成比率】

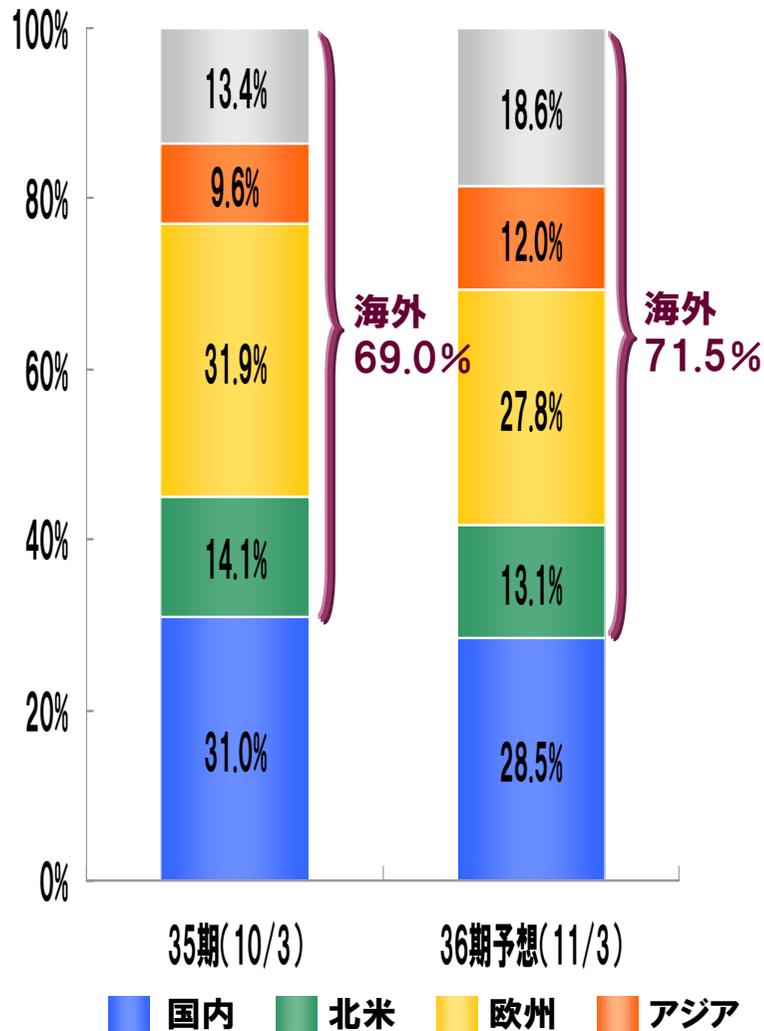


(百万円、%)	35期 (10/3)	36期予想 (11/3)	増減額	増減率
SG市場向け	16,455	15,871	△584	△3.6
IP市場向け	3,924	5,306	1,382	35.2
TA市場向け	1,088	2,898	1,810	166.4
その他	1,816	1,522	△294	△16.2
合計	23,284	25,600	2,316	9.9

SG市場向け IP市場向け TA市場向け その他

エリア別売上高予想

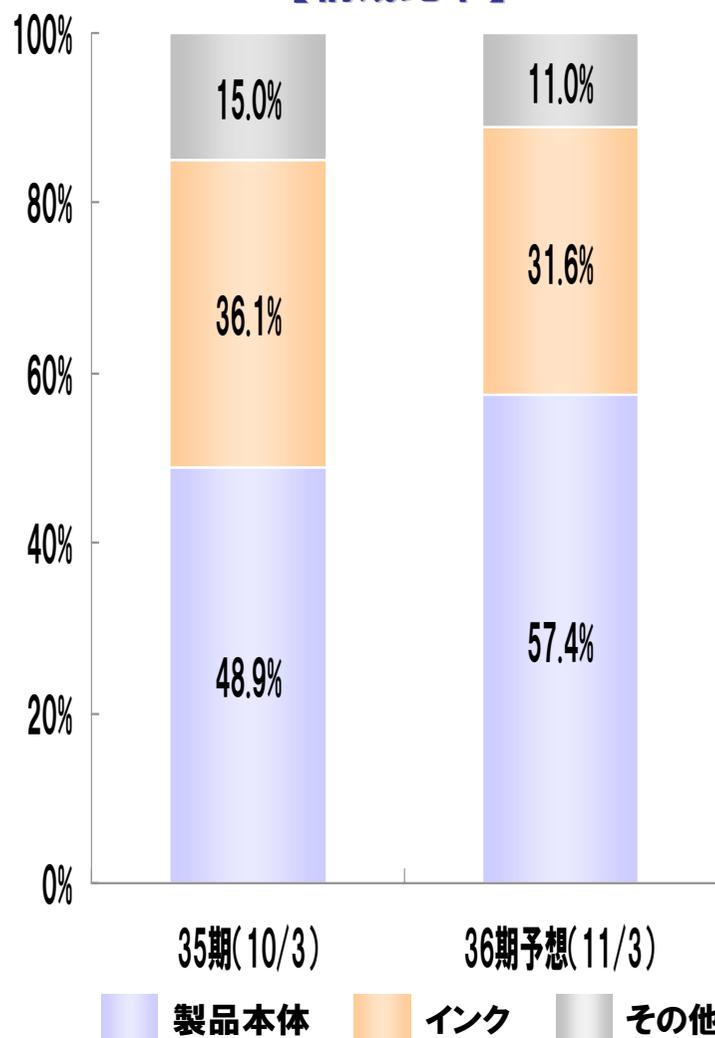
【構成比率】



(百万円、%)	35期 (10/3)	36期予想 (11/3)	増減額	増減率
国内	7,224	7,303	79	1.1
北米	3,285	3,346	61	1.9
欧州	7,412	7,110	△302	△4.1
アジア	2,237	3,070	833	37.2
その他	3,125	4,769	1,644	52.6
合計	23,284	25,600	2,316	9.9

品目別売上高予想

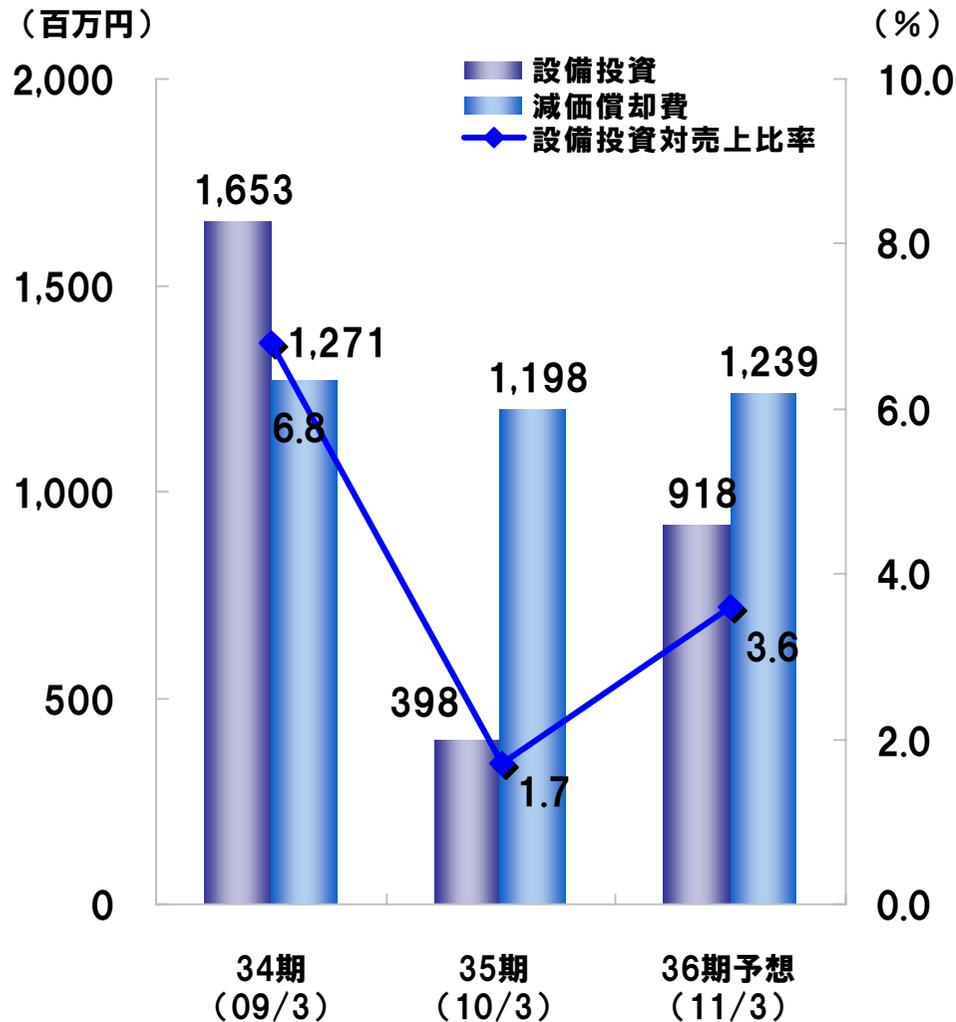
【構成比率】



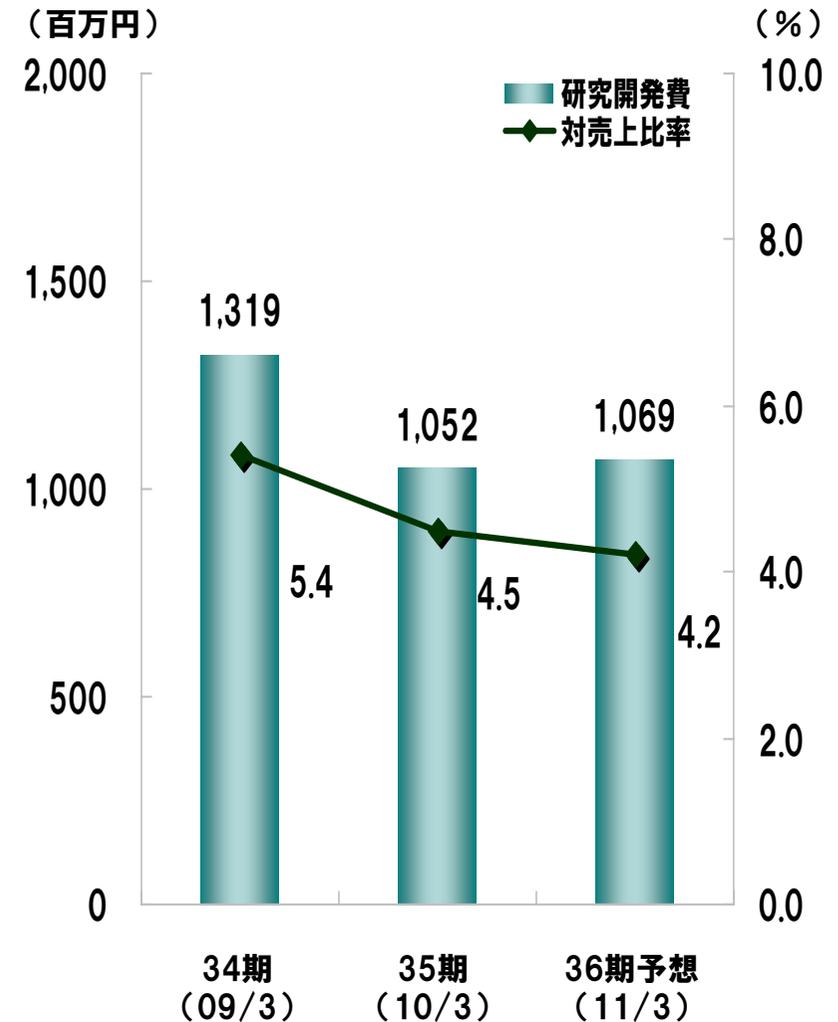
(百万円、%)	35期 (10/3)	36期予想 (11/3)	増減額	増減率
製品本体	11,383	14,705	3,322	29.2
インク	8,408	8,082	△326	△3.9
その他	3,492	2,812	△680	△19.5
合計	23,284	25,600	2,316	9.9

設備投資、研究開発費、減価償却費予想

【設備投資・減価償却費】



【研究開発費・対売上比率】



❖ 今期の予想

❖ 当社の経営戦略

経営戦略

全社戦略

産業用インクジェットプリンタ&カッティングプロッタで
オンデマンド生産を推進する *Mimaki*

市場の声を聞き、ユーザーニーズに合った商品提供

- ✓ 情報収集と分析に基づく、IP市場・TA市場での規模の拡大
⇒ユーザーの儲けに繋がるビジネスモデルの提案、未開拓領域のデジタル化推進
- ✓ デジタルプリントが生み出すエコ対応メリットの提案強化
⇒省資源、省電力、廃棄物低減

次の時代を先取りした商品提案

- ✓ 市場の求めを捉え、差別化を訴求できる付加価値を持った製品開発への取り組み
⇒多様化、高速化、低ランニングコスト化
- ✓ インクを中心としたアフターマーケットビジネスの提案
⇒CS向上によるユーザーとの関係強化、固定客づくり

フレキシブル対応が可能なコスト構造への取り組み

- ✓ 生産、調達のグローバル化によるコスト削減、リスク低減
- ✓ 需要変動に適応するためのQCD(品質、コスト、納期)管理の強化

SG(広告・看板)市場向け 事業戦略

商品戦略

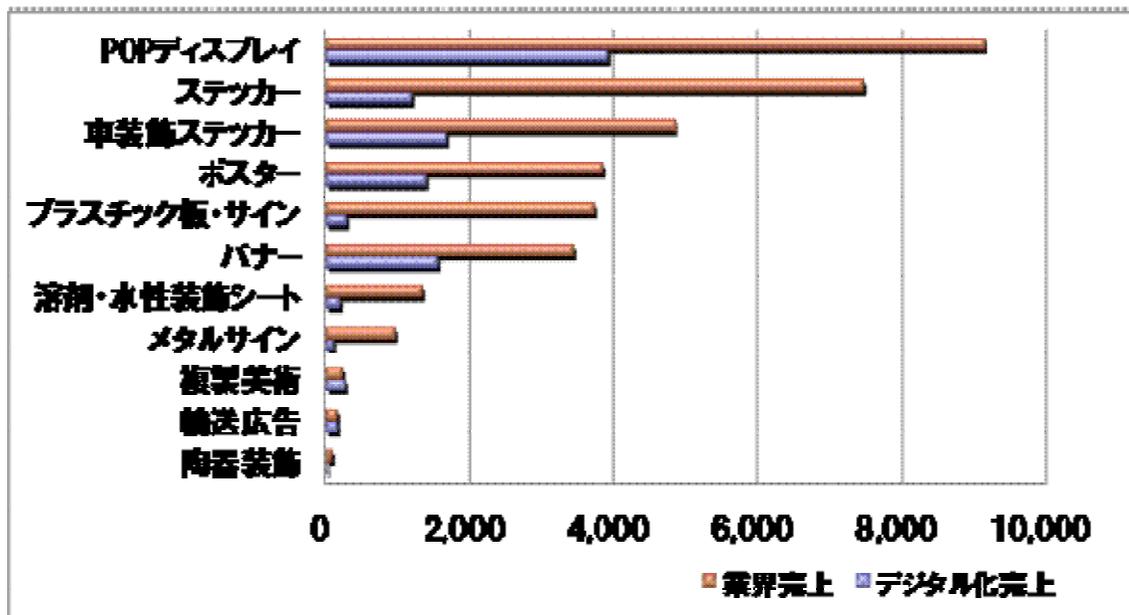
- 先進国向けと新興国向けの2系列エントリーモデルの品揃え
- グローバルマーケット向け中生産性モデルの品揃え

販売戦略

- スクリーン印刷市場のデジタル化を推進
- 環境に優しいUVプリンタの販売促進
- 環境に優しいソフトサインの用途提案による対応機種の販売促進

米国SG市場デジタル進行度

単位：M\$



※デジタル化比率30.0%

2008年調査会社推計データより

IP(産業用途)市場向け 事業戦略

商品戦略

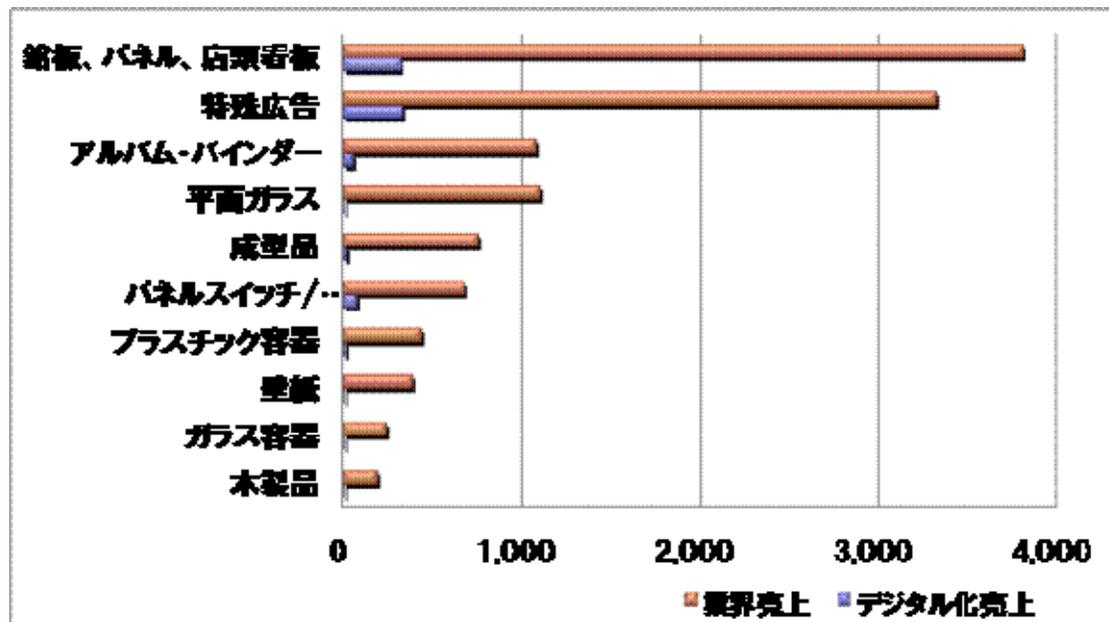
- 高画質UVプリンタのスピード・サイズの豊富な品揃え
- エコ・グリーンを広めるLED-UVプリンタの拡充

販売戦略

- エントリーモデルを活用した販売チャネルづくり
- 前処理、後処理のノウハウやプリンタとカッティングマシンの組合せによるトータルソリューションの提供

米国IP市場デジタル進行度

単位：M\$



※デジタル化比率7.0%

2008年調査会社推計データより

TA(布地・衣類)市場向け 事業戦略

商品戦略

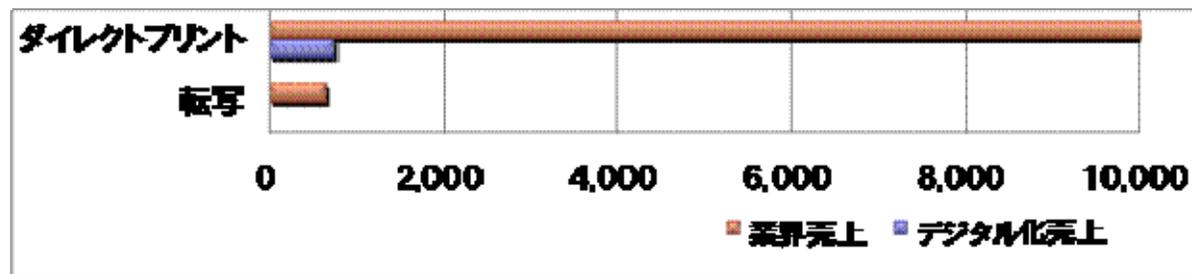
- 生産性を向上させた製品と低価格インクの投入
- 高速性能を強化し無人運転可能な上位機種の開発

販売戦略

- テキスタイル市場のデジタル化を推進
- インクを中心としたアフターマーケットビジネスの拡大

米国TA市場デジタル進行度

単位：M\$

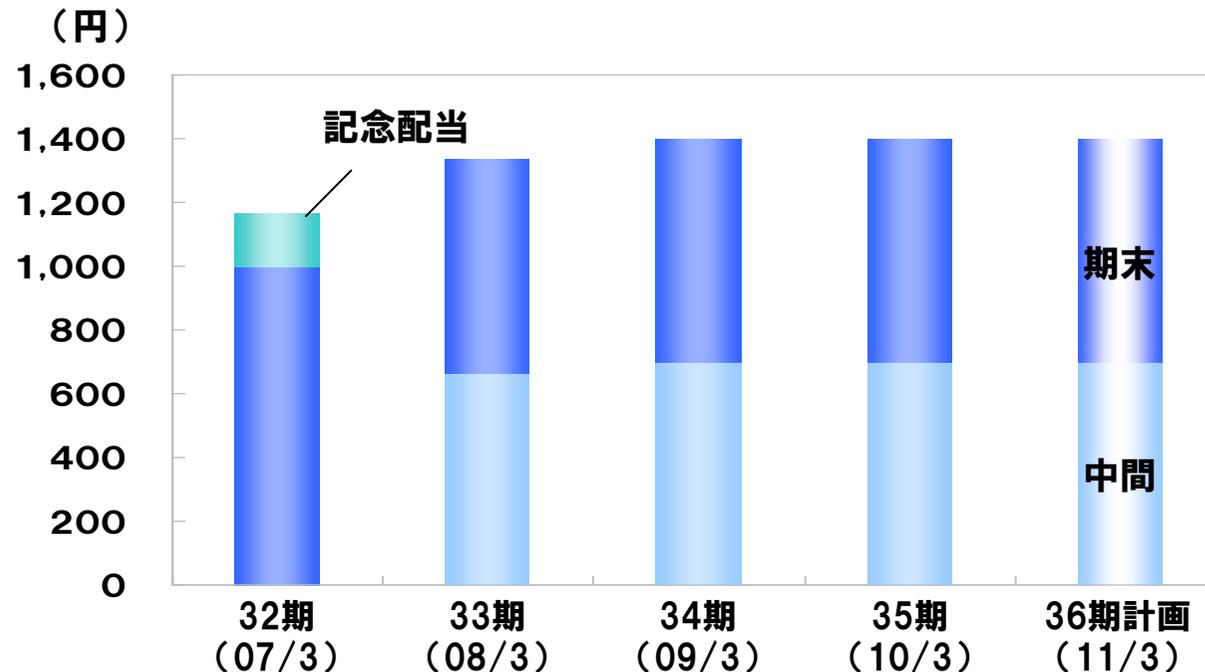


※デジタル化比率3.3%

2008年調査会社推計データより

配当方針

株主への還元を第一として、配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。



(注)2008年4月1日付で、1:3の株式分割を実施しております。上記グラフでは、過去との比較を容易にするため、32期及び33期の配当金額を便宜上3分の1にして表記しております。

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

総務部 IR・広報グループ

TEL 0268 (64) 2281

E-mail mimaki-ir@mimaki.jp

〔本資料お取り扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング(以下、当社)を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

(参考資料) 四半期連結業績推移

